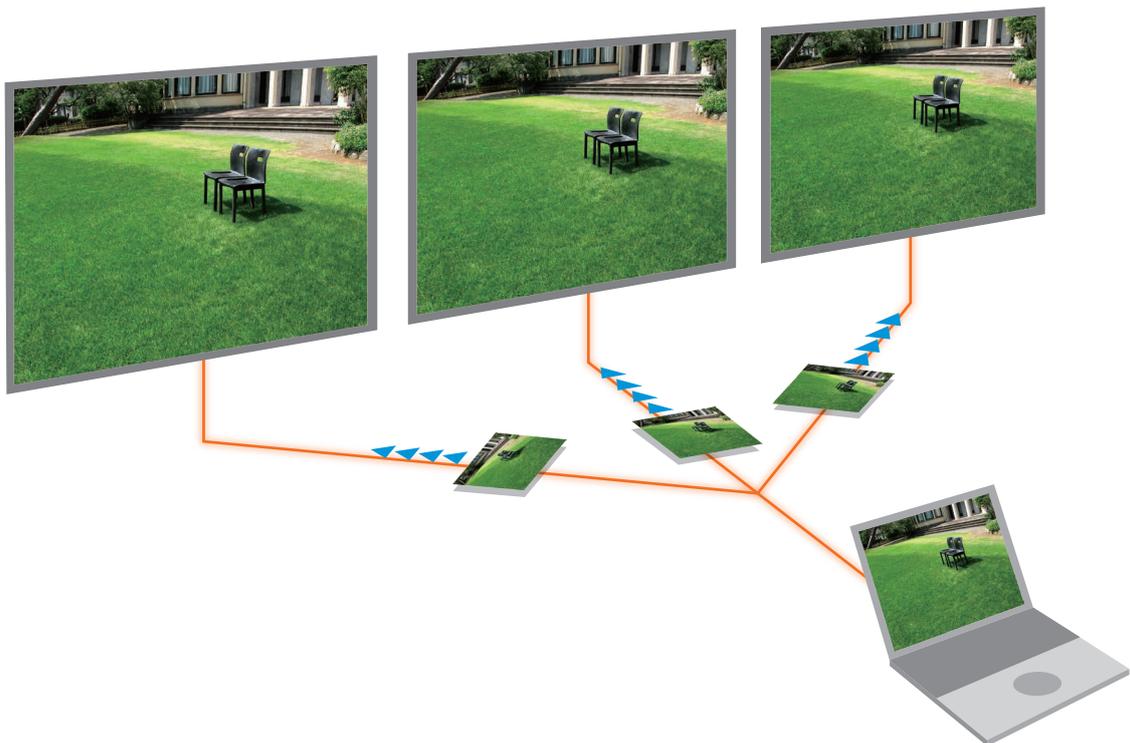


## Windows



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

# もくじ

---

ご使用にあたってのお願いとお知らせ .....	3
ソフトウェアの使いかた .....	4
コンピューターの画面を1台の機材に表示する .....	4
コンピューターの画面を複数台の機材に表示する .....	4
部屋と機材を登録し、接続先の部屋を選んで表示する .....	5
ご使用のコンピューターをご確認ください.....	6
接続に必要なコンピューター環境.....	6
必要なシステム構成 .....	6
コンピューターのネットワーク設定 .....	7
ソフトウェアをインストール / アンインストールする .....	8
ソフトウェアをインストールする .....	8
ソフトウェアをアンインストールする .....	8
準備する.....	9
機材を確認する .....	9
部屋と機材を登録する .....	10
ソフトウェアを起動する .....	13
機材を選択する .....	14
1台の機材に表示する .....	14
複数台の機材に表示する.....	16
登録した部屋の機材を選んで表示する .....	19
ランチャーを操作する .....	22
ランチャー.....	22
音量を調節する .....	23
ソフトウェアを終了する.....	23
詳細設定を行う .....	24
<設定>画面.....	24
エリアを指定して表示する.....	25
エリア指定送信を終了する.....	26
バージョン情報.....	27
表示されるメッセージ .....	28
困ったとき.....	29

# ご使用にあたってのお願いとお知らせ

---

## ● セキュリティに関するお願い

本ソフトウェアをご使用になる場合、以下のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本ソフトウェアを経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本ソフトウェアの不正操作
- 悪意の第三者による本ソフトウェアの妨害や停止

機材本体とお使いのコンピューターに対して、セキュリティー対策を十分に行ってください。

- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
  - パスワードは定期的に変更してください。
  - パナソニック コネクト株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
  - ファイアウォールなどの設定により、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
  - ご使用のコンピューターのパスワードを設定し、ログオンできるユーザーを制限してください。
- 本書内のイラストや画面は、実際と異なる場合があります。
  - 本書およびソフトウェアにおいて、「機材」と表現している箇所は弊社製液晶ディスプレイを対象としています。
  - 機材によるデータの破損につきまして、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ■ 対応する機種

本ソフトウェア「Screen Transfer」に対応している機種は、弊社WEBサイト (<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/download/software/>) でご確認ください。

本ソフトウェアは、プロジェクターには対応しておりません。

### お知らせ

- 対応していない機種と接続された場合の動作は保証しておりません。
- 本ソフトウェアを使用するには、対応する機材の「Screen Transfer 機能」を有効にしておく必要があります。詳しくはご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

# ソフトウェアの使いかた

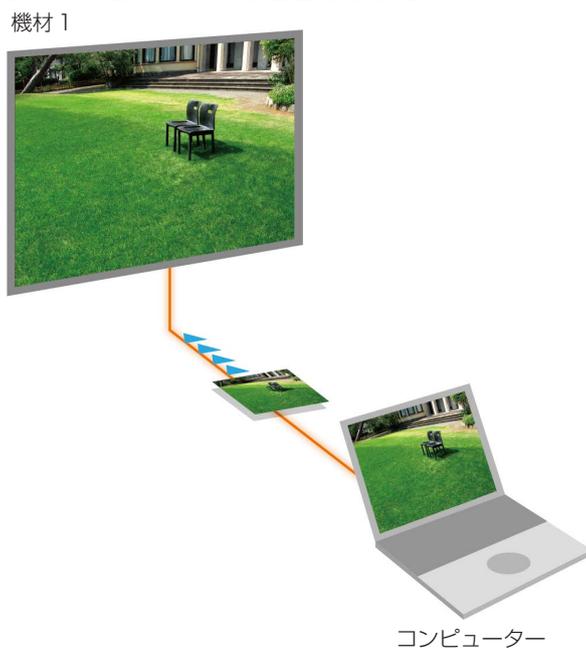
本ソフトウェアを利用すると、コンピューターの画面を、有線LANで接続された1台または複数台の機材に表示させることができます。会議室や教室など、複数の部屋と機材を登録して画面を表示させることも可能です。本ソフトウェアには次の特長があります。

- IPアドレスを指定するだけで機材とコンピューターを接続することができます。
- 高解像度の映像を表示することができます。

## コンピューターの画面を1台の機材に表示する

14 ページ

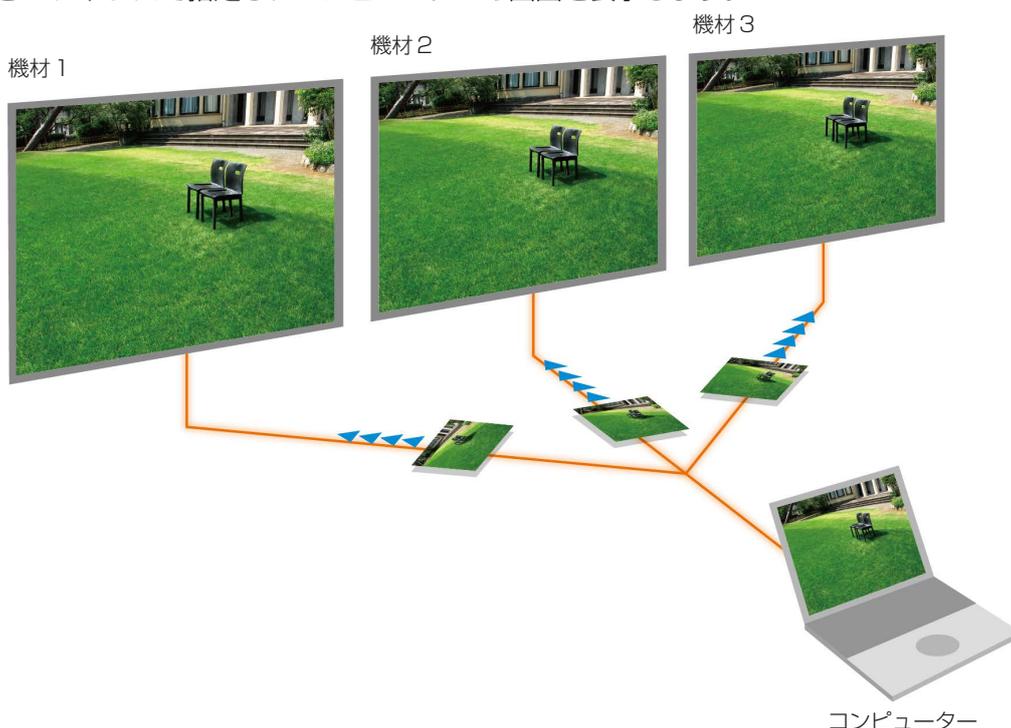
1台の機材をIPアドレスで指定し、コンピューターの画面を表示します。



## コンピューターの画面を複数台の機材に表示する

16 ページ

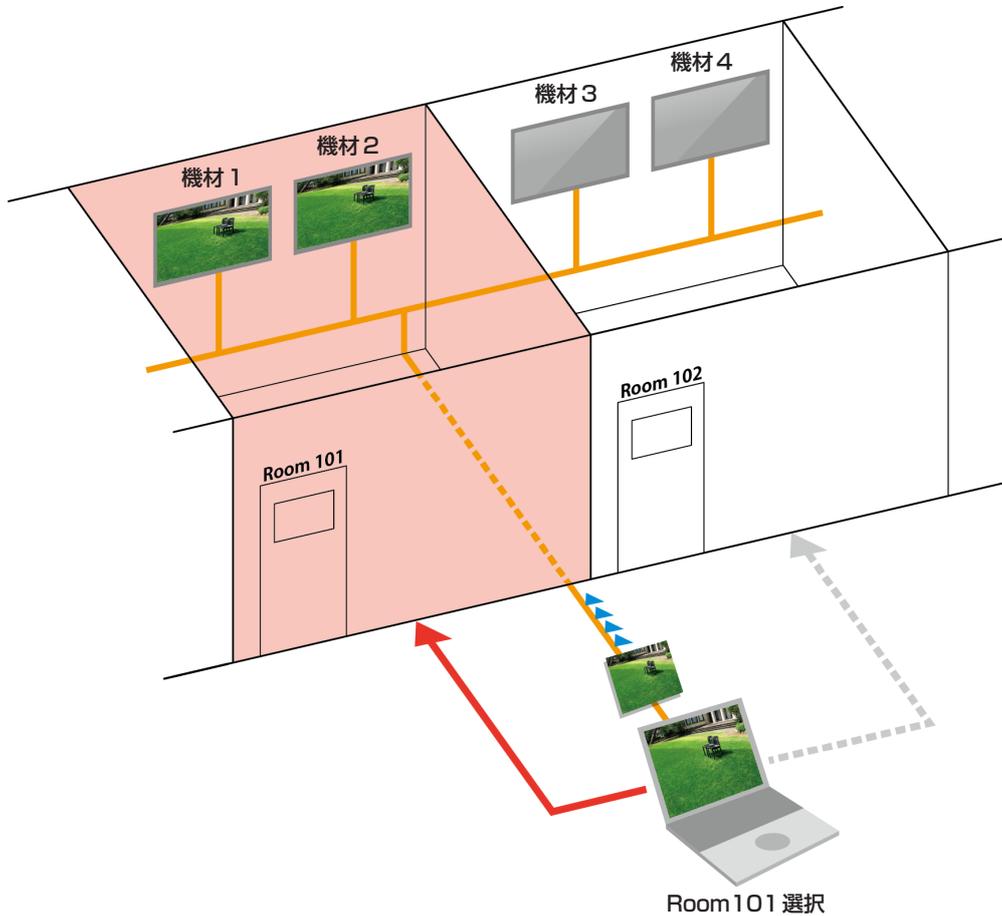
複数台の機材をIPアドレスで指定し、コンピューターの画面を表示します。



## 部屋と機材を登録し、接続先の部屋を選んで表示する

19 ページ

複数の部屋に設置された機材をあらかじめ登録し、接続したい部屋を選んでコンピューターの画面を表示します。



### お知らせ

- この方法をご使用になる場合は、部屋と機材を事前に登録してください（10 ページ）。

# ご使用のコンピューターをご確認ください

## 接続に必要なコンピューター環境

- はじめに、お使いのコンピューターに有線 LAN 機能が装備されているかどうかご確認ください。
- 機材とコンピューターを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

### チェック1 有線 LAN ケーブルについて

- ケーブルが正しく接続されていますか。
- システム構成によりケーブル仕様は異なります。機材の設定とケーブルの仕様をご確認ください。

### チェック2 有線 LAN アダプターの設定

- 有線 LAN アダプターが正しく認識されていますか。
- 有線 LAN アダプターが有効になっていますか。
- 事前に有線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。  
ドライバーのインストール方法は、有線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

### チェック3 コンピューターの設定

- ノートパソコンをご使用の場合は、必ず AC アダプターを接続してください。コンピューターの電源設定によっては、パフォーマンスが低下する恐れがあります。
- セキュリティー（ファイアウォール）ソフトの設定を確認してください。インストールされている場合、機材と接続できない場合があります。
- ネットワークブリッジが設定されていないか確認してください。設定されていると、接続できないことがあります。  
☞ 「困ったとき」(29 ページ)
- ファイアウォール機能によるブロックを、解除または停止しているか確認してください。ファイアウォールに登録していない場合、接続できないことがあります。  
☞ 「困ったとき」(29 ページ)

## 必要なシステム構成

本ソフトウェアを使用するには、下記の条件を満たすコンピューターが必要です。

OS :	Windows 10 Home 64bit (バージョン 1803 以降) Windows 10 Pro 64bit (バージョン 1803 以降) 上記 OS の日本語版、英語版、中国語版に対応します。 Windows 10 がプリインストールされたもの以外は保証いたしません。
CPU :	第 3 世代インテル Core i7/i5/i3 (Ivy Bridge) 以降の統合型グラフィックス機能が搭載されたプロセッサ
メモリー :	1024 MB 以上
ハードディスク :	100 MB 以上の空き容量 (機材情報を保存するために、別途空き容量が必要です。)
LAN 環境 :	LAN 端子 (100BASE-TX/1000BASE-T) が必要
デスクトップ領域 :	1024 ドット × 768 ドット以上 2048 ドット × 1536 ドット以下

### お知らせ

- 上記のシステム環境以外で使用された場合、および自作コンピューターで使用された場合の動作保証は一切いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- コンピューターのビデオドライバー (グラフィックスドライバー) は、コンピューターのメーカーまたはインテル社から提供されている最新のものをお使いください。

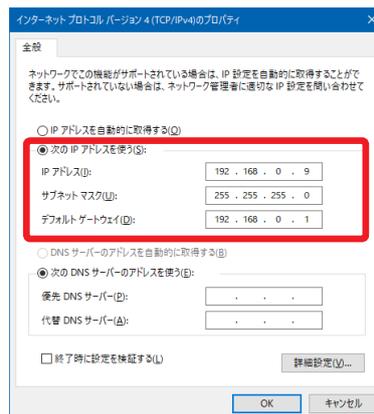
上記の条件を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

ご使用のコンピューターをご確認ください

## コンピューターのネットワーク設定

IPアドレスやサブネットマスクなどのネットワーク設定は、下記の方法で指定できます。設定は、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。

- 1 [スタート] をクリック、または Windows キーを押してスタートメニューを表示させる
- 2 [設定] をクリックして < Windows の設定 > 画面を表示させる
- 3 [ネットワークとインターネット] → [イーサネット] → 関連設定の [アダプターのオプションを変更する] を選択して < ネットワーク接続 > 画面を表示する
- 4 「イーサネット」を右クリックし、[プロパティ] を選択する
- 5 [ネットワーク] タブをクリックする
- 6 「この接続は次の項目を使用します」の [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 7 機材の設定に合わせて、コンピューターのネットワークを設定する  
[次の IP アドレスを使う] をクリックし、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、および「デフォルトゲートウェイ」のボックスに値を入力します。



それぞれの値は、お使いのネットワーク環境に合わせてください。詳しくは、ネットワーク管理者にご確認ください。

# ソフトウェアをインストール/アンインストールする

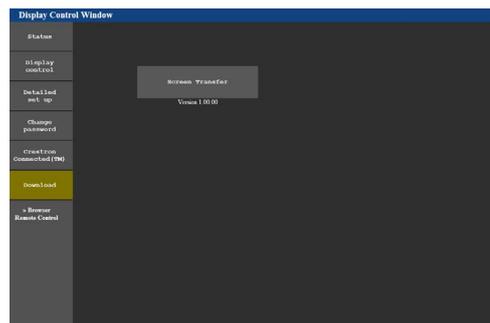
## ソフトウェアをインストールする

### お知らせ

- インストールは管理者権限を持つアカウントで行ってください。
- 本書のイラストや画面は実際と異なる場合があります。
- 本ソフトウェアに対応している機種は、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/download/software/>) でご確認ください。

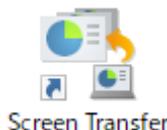
### 1 機材のWEB ブラウザコントロール画面から本ソフトウェアのインストーラーをダウンロードする

WEB ブラウザーコントロール機能については、お使いの機材の取扱説明書をご覧ください。



### 2 インストーラーを起動し、画面の指示にしたがってインストールする

インストールが完了すると、デスクトップ上にショートカットアイコンが作成されます。



### 3 インストールが完了すると完了画面が表示されますので [完了] ボタンを押してください。

## ソフトウェアをアンインストールする

タスクバーの検索ボックスで「アプリと機能」と入力して、表示された「アプリと機能」を選択します。そこで表示された [Screen Transfer] を選択して [アンインストール] をクリックします。

# 準備する

---

## 機材を確認する

### 機材の電源

機材の電源を入れてください。

### お知らせ

- 機材の「Screen Transfer 機能」が有効になっているか確認してください。詳しくはご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

### ネットワークステータスの確認

機材のネットワークステータスを表示させ、IPアドレスを確認してください。  
IPアドレスの確認方法は、ご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

## 部屋と機材を登録する

複数の部屋に機材を設置している場合は、あらかじめ部屋と機材を登録することで、IPアドレスを入力することなくコンピューターと接続できます（19 ページ）。

部屋と機材を登録せずに使用したい場合、ここで説明している設定は必要ありません。本ソフトウェアを起動してください（13 ページ）。

### お知らせ

- 登録は本ソフトウェアを起動する前に行ってください。
- 登録には CSV 形式のファイルを使用します。CSV ファイルの作成および編集にはテキストエディターなどのアプリケーションをご使用ください。

## 機材管理データファイルを新規作成する

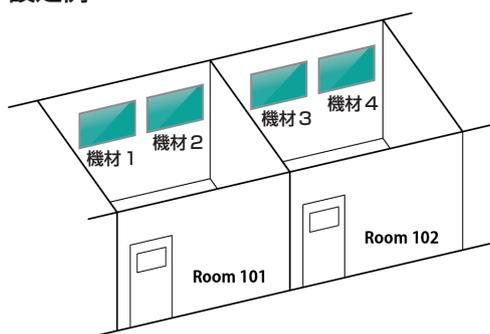
### 1 CSV形式のファイルを作成する

「DeviceList.csv」というファイル名の CSV ファイルを新規作成します。下記にひな型の CSV ファイル「DeviceList.csv」がインストールされています。任意のフォルダにコピーして編集してください。

C:\Program Files (x86)\Panasonic\ScreenTransfer

たとえば2つの部屋に4台の機材がある場合は、下記の内容の CSV ファイルを作成してください。

#### 設定例



#### ● CSV ファイルの内容

```
START,1.0
Room101,No1,192.168.1.101,user,xxxxxxx,TH-xxSQ1x
Room101,No2,192.168.1.102,user,xxxxxxx,TH-xxSQ1x
Room102,No3,192.168.1.103,user,xxxxxxx,TH-xxSQ1x
Room102,No4,192.168.1.104,user,xxxxxxx,TH-xxSQ1x
END
```

### お知らせ

- 各項目はカンマ (,) で区切ってください。
- 先頭行には「START,1.0」、最終行には「END」と入力してください。
- 同じ部屋に設定した機材はグループ化されます。

#### 入力項目一覧

Room101,No1,192.168.1.101,user,xxxxxxx,TH-xxSQ1x

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

①	部屋の番号または名前	登録したい部屋の番号または名前を入力します。本ソフトウェア上では、ここで設定した番号または名前で部屋が表示されます。
②	機材の名前	機材の名前を入力します。本ソフトウェア上では、ここで設定した名前で機材が表示されます。
③	IPアドレス	機材のIPアドレスを入力します。
④	ユーザー名	機材のWEB ブラウザーコントロールで使用するユーザー名を入力します。
⑤	パスワード	機材のWEB ブラウザーコントロールで使用するパスワードを入力します。
⑥	モデル名	機材のモデル名を入力します。

③～⑥の各項目は、ご使用になる機材のネットワーク設定と一致させてください。詳しくは機材の取扱説明書をご覧ください。

### お知らせ

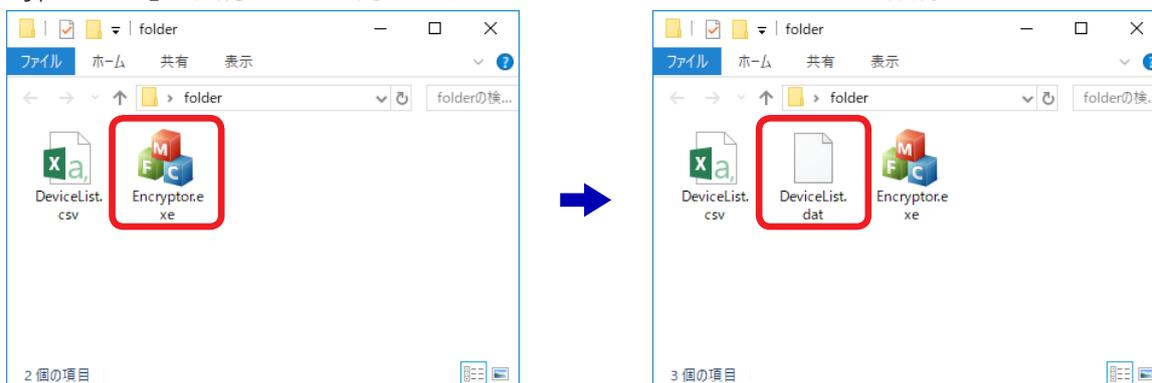
- 部屋の番号 (名前) には「,」 (カンマ) と「/」 (スラッシュ) 以外の英数字を使用できます。
- 部屋や機材の名前が長すぎると、部屋を選ぶときに表示が途切れることがあります。それぞれ 10 文字程度に収めることをお勧めします。
- 機材のユーザー ID およびパスワードを間違えた場合、[優先配信] (20 ページ) や、機材の HDMI 入力、PC 入力への切り換え (22 ページ) が実施できなくなります。

## 2 CSV ファイルを変換する

CSV ファイルを機材管理データファイル (.dat 形式) に変換します。作成した CSV ファイルと同じフォルダに下記の「Encryptor.exe」をコピーします。

C:\Program Files (x86)\Panasonic\ScreenTransfer\ST\Encryptor.exe

「Encryptor.exe」を実行すると、同じフォルダに DeviceList.dat ファイルが作成されます。



## 3 変換したファイルを指定のフォルダに置く

変換した設定ファイル (DeviceList.dat) を下記フォルダに移動させます。

C:\ProgramData\Panasonic\ScreenTransfer

上記は不可視フォルダのため、通常は表示されません。表示するにはコンピューターの設定を変更してください (12 ページ)。

### お知らせ

- 登録した部屋や機材が本ソフトウェア上に表示されない場合は、設定ファイルの内容に誤りがあります。もう一度内容を確認し、設定ファイルを作り直してください。
- 機材管理データファイル「DeviceList.dat」は、本ソフトウェアをアンインストールしても削除されません。不要な場合は手動で削除してください。

## 不可視フォルダを表示する

機材管理データファイルの保存先が表示されない場合、下記の手順で表示することができます。

### お願い

- 不可視フォルダにはシステムに関わるファイルが保存されています。不用意に変更しないよう、機材管理データファイルを保存したら元の設定に戻してください。

- 1  スタート を右クリックし、[エクスプローラー] を選択する
- 2 Cドライブを選んで[表示]タブをクリックする
- 3 [隠しファイル]にチェックを入れる  
Cドライブの不可視フォルダが表示されます。
- 4 [ProgramData]フォルダを開き、指定されたフォルダに機材管理データファイルを保存する
- 5 [隠しファイル]のチェックを外す

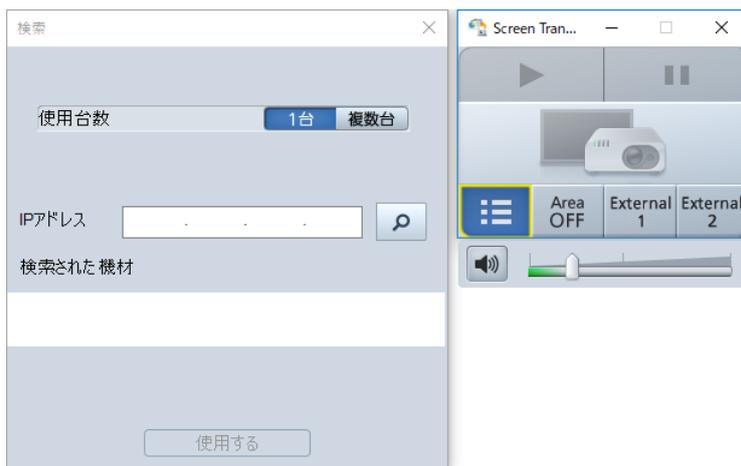
# ソフトウェアを起動する

インストールした本ソフトウェアを起動するときは、

デスクトップの  をダブルクリックする

[ スタート] → [ Panasonic] → [ Screen Transfer] を選択することで本ソフトウェアを起動することができます。

- 部屋と機材を登録せずにソフトウェアを起動した場合  
ランチャーと<検索>画面が表示されます。表示したい機材のIPアドレスを<検索>画面に入力し、コンピューターの画面を表示させてください。



1 台の機材にコンピューターの画面を表示したい場合

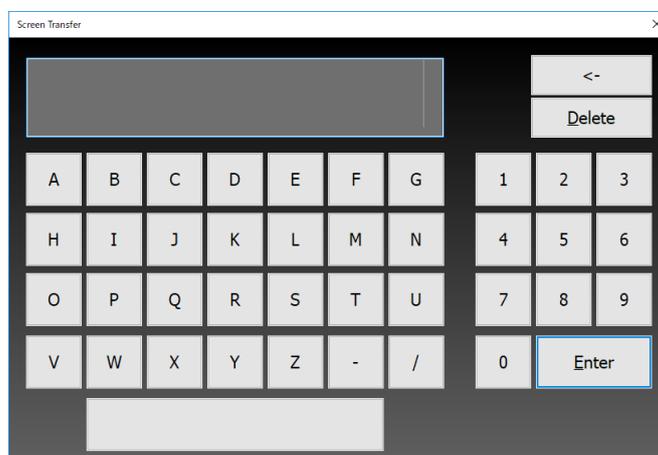
☞ 14 ページ

複数の機材にコンピューターの画面を表示したい場合

☞ 16 ページ

- 部屋と機材を登録してソフトウェアを起動した場合  
あらかじめ部屋と機材を登録している場合 (10 ページ) は部屋番号の指定画面が表示されます。部屋と機材を選び、コンピューターの画面を表示させてください。

☞ 19 ページ



## お知らせ

- 登録した部屋や機材が本ソフトウェア上に表示されない場合は、設定ファイルの内容に誤りがあります。もう一度内容を確認し、設定ファイルを作り直してください (10 ページ)。

# 機材を選択する

## 1 台の機材に表示する

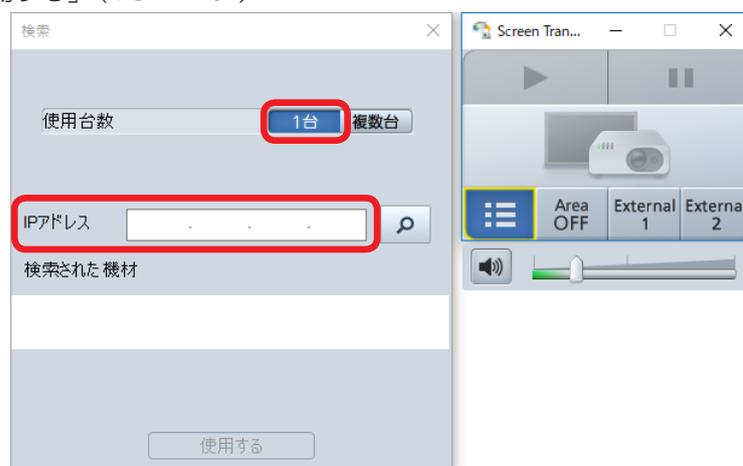
事前に部屋や機材を登録せずに、1 台の機材を選んでコンピューターの画面を表示させます。

### お知らせ

- あらかじめ機材の電源をオンにして、入力を「Screen Transfer」に切り換えておく必要があります。
- 表示する機材は IP アドレスで指定します。機材の電源を入れ、あらかじめ IP アドレスを確認しておきます（9 ページ）。
- 機材側の設定で PIN コードをオンにしている場合は、接続時に PIN コードも入力します。PIN コードについてはご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

## 1 本ソフトウェア を起動して、ランチャーと<検索>画面を表示させる

 「ソフトウェアを起動する」（13 ページ）



## 2 [1 台] をクリックし、機材の IP アドレスを入力する

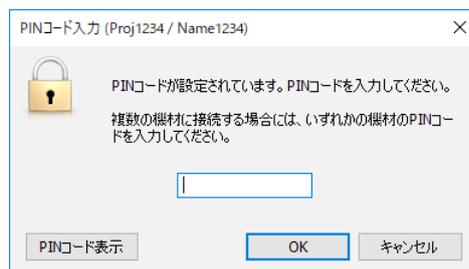
## 3 をクリックする

機材が見つかったら、画面の下側に機材名が表示されます。



### 4 [使用する]をクリックする

機材側の設定でPINコードをオンにしている場合は、<PINコード入力>画面が表示されます。



機材の待ち受け画面に表示されたPINコードを入力して[OK]をクリックしてください。

#### PINコード表示例



### お知らせ

- コンピューターのディスプレイが 4K 解像度対応の場合は、解像度を 2048 ドット× 1536 ドット以下に変更してからご使用ください。
- 他のユーザーが画面共有を実施している場合、機材に PIN コードは表示されません。このとき [PIN コード表示] をクリックすると、他のユーザーの共有画面上に PIN コードを表示することができます。
- <設定>画面（24 ページ）で「機材の選択と同時に画面共有を開始する」にチェックを入れると、選択と同時に表示を開始できます。設定が有効なときは [使用する] が [画面を共有する] に変わります。

機材が映像を表示できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

☞ 「ランチャー」（22 ページ）



## 複数台の機材に表示する

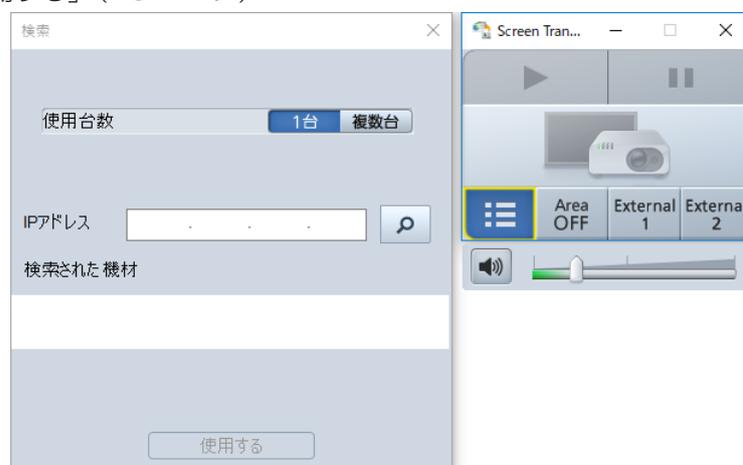
事前に部屋や機材を登録せずに、複数台の機材を選んでコンピューターの画面を表示させます。

### お知らせ

- 機材は最大 8 台まで使用できます。
- あらかじめ機材の電源をオンにして、入力を「Screen Transfer」に切り換えておく必要があります。
- 表示する機材は IP アドレスで指定します。機材の電源を入れ、あらかじめ IP アドレスを確認しておきます（9 ページ）。
- 機材側の設定で PIN コードをオンにしている場合は、接続時に PIN コードも入力します。PIN コードについてはご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

### 1 本ソフトウェア を起動して、ランチャーと<検索>画面を表示させる

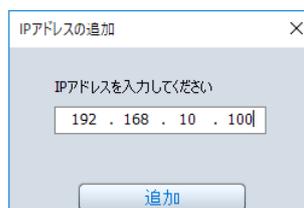
☞ 「ソフトウェアを起動する」（13 ページ）



### 2 [複数台] をクリックする



### 3 [追加] をクリックし、<IPアドレスの追加>画面を表示する



### 4 検索する IP アドレスを入力し、[追加] をクリックする

同じ手順を繰り返して、表示したいすべての機材の IP アドレスを追加してください。

### 5 をクリックする

機材が見つかったら、IPアドレスの右に機材名が表示されます。

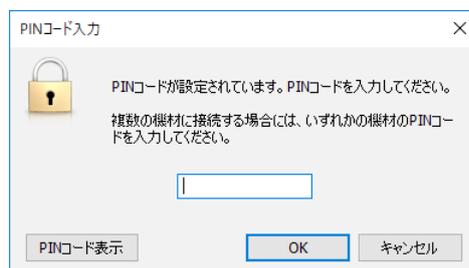


#### お知らせ

- 追加した機材を検索対象から削除したい場合は、IPアドレスを選んで[削除]をクリックします。

### 6 [使用する] をクリックする

機材側の設定でPINコードをオンにしている場合は、<PINコード入力>画面が表示されます。この画面は、1台でもPINコードがオンに設定されていると表示されます。複数台の機材にPINコードが表示された場合、いずれか1つを入力すると、すべての機材に接続されます。



機材に表示されたPINコードを入力して[OK]をクリックしてください。

#### PINコード表示例



#### お知らせ

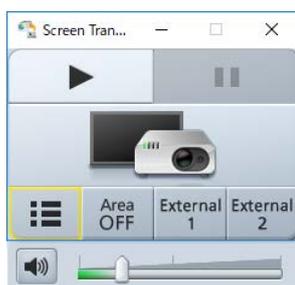
- コンピューターのディスプレイが4K解像度対応の場合は、解像度を2048ドット×1536ドット以下に変更してからご使用ください。
- 他のユーザーが画面共有を実施している場合、機材にPINコードは表示されません。このとき[PINコード表示]をクリックすると、他のユーザーの共有画面上にPINコードを表示することができます。
- <設定>画面(24ページ)で「機材の選択と同時に画面共有を開始する」にチェックを入れると、接続と同時に表示を開始できます。設定が有効なときは[使用する]が[画面を共有する]に変わります。

## 機材を選択する

---

機材が映像を表示できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

☞ 「ランチャー」 (22 ページ)



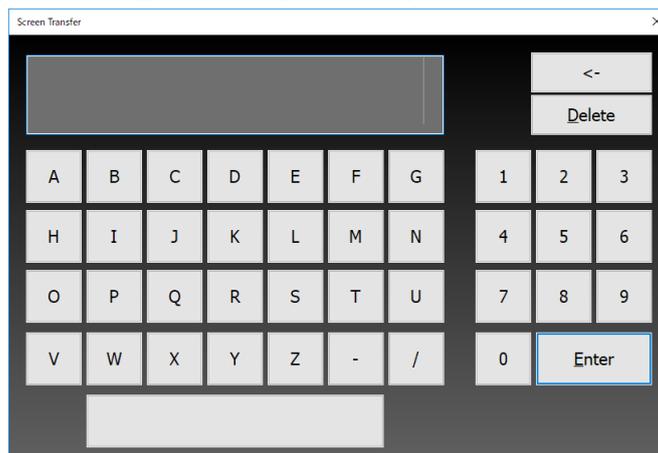
## 登録した部屋の機材を選んで表示する

事前に登録した部屋から機材を選び、コンピューターの画面を表示させます。事前に部屋と機材を登録してください(10 ページ)。

### 1 本ソフトウェアを起動する

☞ 「ソフトウェアを起動する」(13 ページ)

部屋と機材が登録済みの場合は、部屋番号の指定画面が表示されます。



### 2 接続したい機材がある部屋の番号または名前(一部またはフルネーム)を入力する

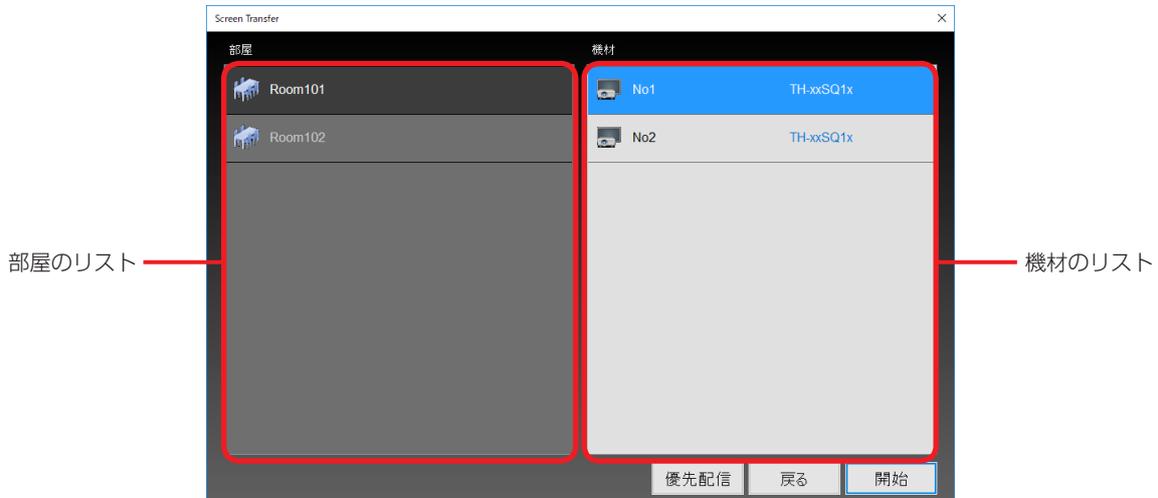


#### お知らせ

- 部屋の名前の一部のみ入力した場合は、入力した文字を前方一致で含むすべての部屋を指定できます。
- 部屋の名前を入力せずに [Enter] をクリックすると、登録されたすべての部屋を指定できます。
- [<-] をクリックすると、1文字削除できます。
- [Delete] をクリックすると、すべての文字を削除できます。

### 3 [Enter] をクリックする

部屋を選択画面が表示されます。



部屋のリスト：複数の部屋が見つかった場合は一覧表示されます。

機材のリスト：部屋に登録された機材を表示します。ここで機材を選ぶと、選んだ機材からコンピューターの音声を出力できます。

#### お知らせ

- 機材は最大8台まで表示できます。
- [戻る] をクリックすると部屋番号の指定画面に戻ります。
- 登録した部屋や機材が本ソフトウェア上に表示されない場合は、設定ファイルの内容に誤りがあります。もう一度内容を確認し、設定ファイルを作り直してください(10 ページ)。

### 4 接続したい部屋を選び、[開始] または [優先配信] をクリックする

#### [開始]

対象の機材との接続を開始します。開始時に機材管理データファイルのユーザー ID、パスワードによる認証を行います。以下の場合でも接続を開始することができます。

- 機材の電源がオフ (スタンバイ) の状態
- 機材の入力が「Screen Transfer」以外の状態

本ソフトウェアの<設定>画面 (24 ページ) にある「機材の選択と同時に画面共有を開始する」にチェックを入れている場合は、接続と同時に画面共有が開始されます。

#### [優先配信]

対象の機材との画面共有を開始します。開始時に機材管理データファイルのユーザー ID、パスワードによる認証を行います。以下の場合でも画面共有を開始することができます。

- 機材の電源がオフ (スタンバイ) の状態
- 機材の入力が「Screen Transfer」以外の状態
- 他のユーザーが画面共有を実施中、または機材の [割り込み] 設定がオフの状態
- 機材の [PIN コード] がオンの状態
- 本ソフトウェアの<設定>画面 (24 ページ) にある「機材の選択と同時に画面共有を開始する」のチェックを外している状態

優先配信を行うと、機材の入力が自動的に「Screen Transfer」へ切り換わります。優先配信を終了 (画面共有を停止) すると、入力は自動的に元に戻ります。

#### お知らせ

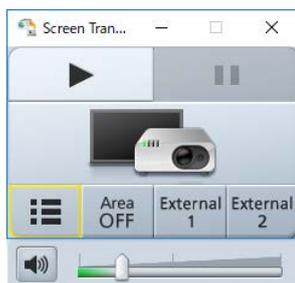
- 音声出力が有効な場合、機材のリストで選択した機材から音声出力されます。
- 本機能を使用するには、機材管理データファイルにユーザー ID とパスワードを設定する必要があります。

## 機材を選択する

---

機材が映像を表示できる状態になると、ランチャーの操作が有効になります。

☞ 「ランチャー」 (22 ページ)

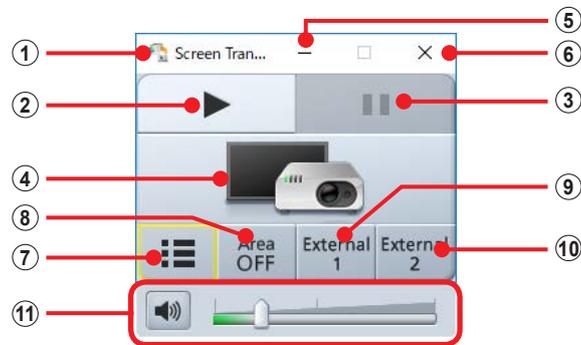


# ランチャーを操作する

機材の操作（映像の表示の開始や停止）や音量調整、他の画面の表示などの操作は、ランチャーで行うことができます。

機材と通信しているときは、映像の表示を制御するボタンの操作が有効になります。

## ランチャー



① システムメニューを表示します。

☞ 24 ページ

② 映像の表示の開始と停止を行います。

映像を表示中は、▶ (再生) に変わります。

③ 映像の表示を一時停止します。

映像を表示中のみ操作ができます。

操作を行ったときの画像で静止します。

④ 機材との通信状態をアイコンで表示します。



映像を表示不可

機材が選択されておらず、通信していない状態です。



映像を表示可能

機材が選択されており、通信している状態です。



映像を表示中

現在、機材から映像を表示しており、通信している状態です。

⑤ ランチャーの表示を最小にします。

⑥ 本ソフトウェアを終了します。

☞ 23 ページ

⑦ <検索> 画面または部屋番号の指定画面を表示します。

機材を選択する画面を表示します。映像を表示する機材を選択したときに使用した画面が表示されます。

⑧ <エリア指定送信> ウィンドウを表示します。

☞ 25 ページ

⑨ 機材のHDMI入力に切り換えます。

部屋と機材を登録し、機材のユーザー ID とパスワードを設定しているときのみ使用できます (19 ページ)。

HDMI 入力端子の系統が複数ある場合は、<HDMI 1> に切り換えます。

⑩ 機材のPC入力に切り換えます。

部屋と機材を登録し、機材のユーザー ID とパスワードを設定しているときのみ使用できます (19 ページ)。

⑪ 音量を調整します。

☞ 23 ページ

## ランチャーを操作する

### お知らせ

- ランチャーは機材の映像に表示される場合があります。表示させたくない場合は、ランチャーの表示を最小にしてください。
- ランチャーの位置は、マウスでドラッグして自由に変えることができます。
- ランチャーの表示を最小にしてタスクバーに収納したときは、タスクバー内の  をクリックすることで、ランチャーを再度表示させることができます。
- 「機材の選択と同時に画面共有を開始する」(24 ページ) を有効にしている場合は、機材との通信が完了すると、  をクリックしなくても映像の表示を開始します。
- 動画再生用のアプリケーションによっては、動画部分が再生されないことがあります。
- 画面共有の開始前に、あらかじめ機材の電源をオンにして、入力を「Screen Transfer」に切り換えておく必要があります。

## 音量を調節する

- ランチャーの  を調整する  
出力される音量を調整することができます。



## 音量を調整するアイコンが表示されない場合

ランチャーの左上をクリックしてシステムメニューを表示させ、[設定] → 「画面共有時に映像と一緒に音声も出力する」にチェックを入れてください。

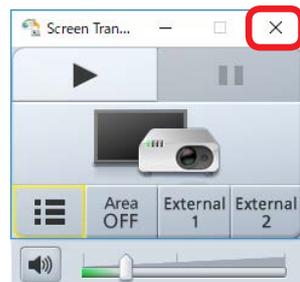
☞「詳細設定を行う」(24 ページ)

### お知らせ

- 部屋と機材を登録している場合は、部屋の選択画面で選んだ機材から音声が出力されます。
- IP アドレスを指定して複数台の機材と接続している場合、音声出力できません。
- コンピューターの音声は、本ソフトウェアの起動中に映像を表示したときのみ機材から出力されます。

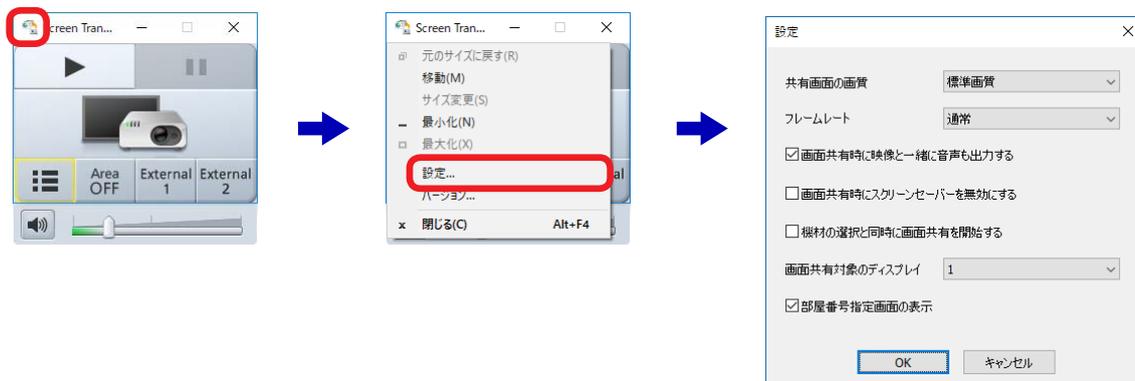
## ソフトウェアを終了する

- ランチャーの  をクリックする



# 詳細設定を行う

映像の画質、音声出力の有無などの詳細設定は<設定>画面で行うことができます。  
<設定>画面を表示するには、ランチャーの左上をクリックし、システムメニューから[設定]を選びます。



## <設定>画面

### 「共有画面の画質」

表示画質を設定します。

「高画質」：静止画などの表示に適しています。

「標準画質」：動画などの表示に適しています（初期設定）。

「低画質」：通信量を抑えることができるため、複数台の機材への表示に適しています。

### 「フレームレート」

共有画面のフレームレートを調整するとき 사용합니다。

通常：通常のフレームレート（初期設定）。

高い：高めのフレームレート。

### 「画面共有時に映像と一緒に音声も出力する」

コンピューターの音声を、接続している機材から出力します。

音声を出力しない場合は、チェックを外します。

- IP アドレスを指定して複数台の機材と接続している場合は使用できません。

### 「画面共有時にスクリーンセーバーを無効にする」

映像を表示中、コンピューターのスクリーンセーバー機能を無効にします。

- スクリーンセーバーが開始されると本ソフトウェアは自動的に画面共有を停止します。画面共有を停止したくない場合は、この設定にチェックを入れてください。
- パスワード付きのスクリーンセーバーの設定も無効になりますので、席を離れる場合には注意してください。

### 「機材の選択と同時に画面共有を開始する」

<検索>画面または機材の選択画面から機材を選択すると、自動的に映像の表示が始まります。

ランチャーの▶をクリックする必要はありません。

### 「画面共有対象のディスプレイ」

マルチディスプレイ環境でコンピューターを使用しているとき、機材に表示するディスプレイを選びます。

### 部屋番号指定画面の表示

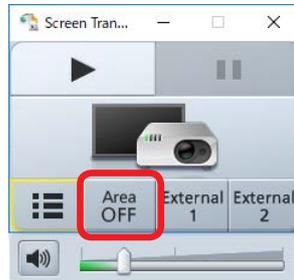
部屋と機材を登録して使用している場合に、部屋番号の指定画面を表示するか設定します。チェックを入れているときは、部屋番号の指定画面を表示します。

# エリアを指定して表示する

コンピューターの画面のうち、必要な範囲だけを指定し、機材に表示することができます。

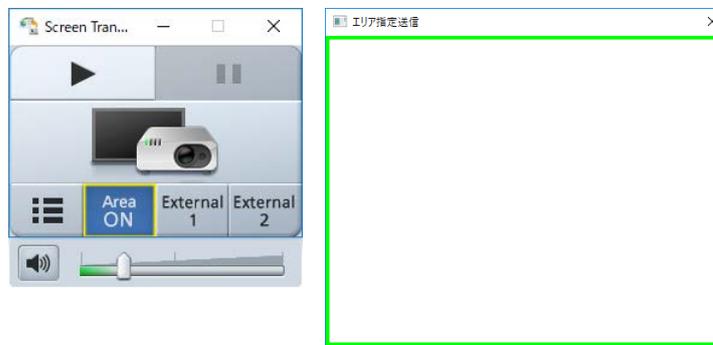
## 1 ランチャーの [Area OFF] をクリックする

＜エリア指定送信＞ウィンドウ（範囲選択画面）が表示されます。



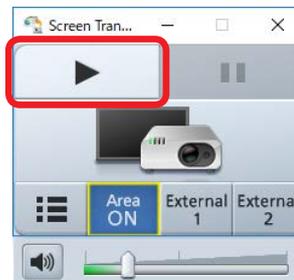
## 2 ＜エリア指定送信＞ウィンドウで送信したい部分を指定する

＜エリア指定送信＞ウィンドウは、通常のウィンドウ操作でサイズや位置を調節できます。



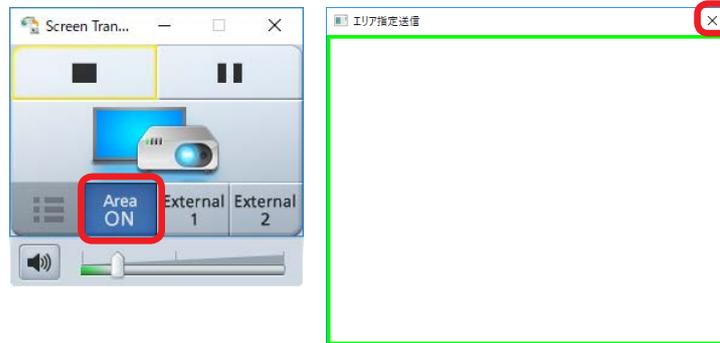
## 3 ランチャーの ▶ をクリックする

＜エリア指定送信＞ウィンドウ内の映像が機材に表示されます。



## エリア指定送信を終了する

- <エリア指定送信>ウィンドウ右上の × をクリックする、またはランチャーの [Area ON] をクリックする

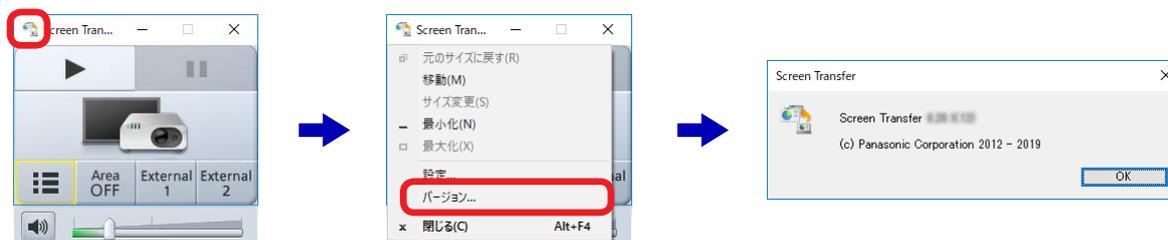


### お知らせ

- <エリア指定送信>ウィンドウの枠内をマウスで操作することはできません。ランチャーを<エリア指定送信>ウィンドウの枠内に入れないように注意してください。
- ランチャーが<エリア指定送信>ウィンドウの枠内に入ってしまった場合は、<エリア指定送信>ウィンドウを閉じ、ランチャーを枠外のエリアに移動させてください。再度<エリア指定送信>ウィンドウを開くと、前回と同じ大きさ、位置で画面が表示されます。
- 本機能は、<設定>画面の「画面共有対象のディスプレイ」で 1 を選んでいるときのみ使用することができます。

# バージョン情報

本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。ランチャーの左上をクリックしてシステムメニューを表示させ、「バージョン...」を選びます。



# 表示されるメッセージ

本ソフトウェアの使用中にエラーが発生したときは、メッセージが表示されます。

メッセージ	内容
Screen Transferの起動に失敗しました。	本ソフトウェアが起動できません。
Screen Transferが既に起動しています。	本ソフトウェアを2重に起動しようとしています。
LANアダプターが見つかりません。	有線LANアダプターがコンピューターに見つかりません。
機材との通信に失敗しました。	機材とコンピューターの間で、通信エラーが発生しています。
機材から通信が切断されました。	機材との通信が強制的に切断されました。
機材の電源がOFFにされたため、機材から切断されました。	機材の電源オフにより、通信が強制的に切断されました。
他のユーザーに割り込みされたため、機材から切断されました。	他のユーザーが機材にアクセスしたため、機材との通信が強制的に切断されました。
機材の入力が「Screen Transfer」以外に変更されたため、機材から切断されました。	機材の入力が「Screen Transfer」以外に変更されたため、通信が強制的に切断されました。
画面共有の開始に失敗しました。	タイムアウトにより、画面共有の開始に失敗しました。
他ユーザーが使用中です。	他のユーザーが機材を使用しています。
画面共有に失敗しました。電源を手動で入れて、機材の入力を「Screen Transfer」に切換後に、再度画面共有をしてください。	機材の電源がオフのため、画面共有の開始に失敗しました。
機材の入力が「Screen Transfer」でないため、画面共有に失敗しました。「Screen Transfer」に切換後に、再度画面共有をしてください。	機材の入力が「Screen Transfer」以外のため、画面共有に失敗しました。
既にこのIPアドレスは登録されています。	追加されたIPアドレスが既に登録されています。
登録できるIPアドレスは8つまでです。	既に8台の機材のIPアドレスが登録されています。
本機能は部屋番号による接続時のみご使用いただけます。	ランチャーの[External 1]および[External 2]ボタンは、部屋を登録したときのみ使用できます。 ☞ 10 ページ
全ての機材の認証に失敗しました。	部屋番号による接続時に、登録している全ての機材の認証に失敗しました。
下記の機材の認証に失敗しました。下記の機材を除いて接続します。よろしいですか？	部屋番号による接続時に、登録している一部の機材の認証に失敗しました。
認証に失敗したため、操作を実施できませんでした。	ランチャーの[External 1]および[External 2]ボタンを使用したとき、認証に失敗して操作を実施できませんでした。

# 困ったとき

## 機材とコンピューターが有線LAN接続できないとき

- **ネットワークの設定は正しいですか。**  
機材のネットワーク設定とコンピューターのネットワーク設定が正しいか確認してください。
- **機材の電源を入れた直後、および入力の切り換え直後は接続に失敗する場合があります。**  
しばらく（1分以上）待ってから接続してください。
- **ネットワークブリッジが設定されていませんか。**  
ネットワークブリッジが設定されていると接続できないことがあります。ネットワークブリッジが不要な場合は削除してください。  
詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

### <ネットワークブリッジの有無の確認方法>

- 1 [スタート] をクリック、またはWindowsキーを押してスタートメニューを表示させる
- 2 [設定] をクリックして<Windowsの設定>画面を表示させる
- 3 [ネットワークとインターネット] → [イーサネット] → 関連設定の[アダプターのオプションを変更する]を選択して<ネットワーク接続>画面を表示する  
<ネットワーク接続>画面に[ネットワークブリッジ]が表示されている場合、ネットワークブリッジが設定されています。

### <ネットワークブリッジの削除方法>

- 1 <ネットワーク接続>画面の[ネットワークブリッジ]を右クリックし、[削除]を選択する
- 2 [接続の削除の確認] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックする
- 3 [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[続行]をクリックする

- **Windows ファイアウォールに本ソフトウェアが登録されていますか。**

#### <Windows ファイアウォールへの登録>

以下の手順で[ファイアウォールによるアプリケーションの許可]に本ソフトウェアを登録してください。

- 1 [スタート] をクリック、またはWindowsキーを押してスタートメニューを表示させる
- 2 [設定] をクリックして<Windowsの設定>画面を表示させる
- 3 [更新とセキュリティ] → [Windowsセキュリティ] → 保護の領域の[ファイアウォールとネットワーク保護]を選択して<ファイアウォールとネットワーク保護>画面を表示する
- 4 [ファイアウォールによるアプリケーションの許可] をクリックする
- 5 [設定の変更] をクリックし、登録許可モードに変更する
- 6 [別のアプリの許可] をクリックし、<アプリの追加>画面が表示されたら、[参照] をクリックする
- 7 本ソフトウェアをインストールしたフォルダの「Screen Transfer.exe」を選択し、[開く] をクリックする  
フォルダを指定していない場合のインストール先：  
C:\Program Files (x86)\Panasonic\ScreenTransfer
- 8 <アプリの追加>画面の[アプリ]リストに、本ソフトウェアが表示されていることを確認して、[追加] をクリックする
- 9 [許可されたアプリおよび機能] リストに本ソフトウェアが追加されていることを確認する
- 10 プライベートおよびパブリックにチェックが入っていることを確認する
- 11 <許可されたアプリ>画面の[OK] をクリックする  
本ソフトウェアがWindows ファイアウォールの例外アプリケーションリストに登録されます

- **ファイアウォール機能を備えたアプリケーションがインストールされていませんか。**

ファイアウォール機能を備えたアプリケーションがインストールされていると、機材と通信できない場合があります（起動していなくても、インストールされているだけでファイアウォール機能が動作する場合があります）。

この場合、接続を行うためには、ファイアウォールの設定変更を行う必要があります。

ファイアウォールの設定方法については、各アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

**「LANアダプターが見つかりません。」のエラーが表示されたとき**

- **有線LANアダプターは正しく認識されていますか。**  
 ご使用の有線LANアダプターが正しく認識されていない場合があります。  
 コンピューターを操作して、有線LANアダプターが[デバイスマネージャー]で正しく認識されているか確認してください。  
 [デバイスマネージャー]の[ネットワークアダプター]の欄に[?]マークが表示されている場合は、インストールが正常に終了していないことが考えられます。  
 ご使用のコンピューターまたは有線LANアダプターの取扱説明書に従って、再度ドライバーをインストールすることをお勧めします。

**<[デバイスマネージャー]の表示方法>**

- 1 [スタート]を右クリックする
- 2 メニューから[デバイスマネージャー]を選択する

- **有線LANアダプターのドライバーのアップデートを行うことで動作するようになる場合があります。**  
 ドライバーのアップデートに関しては、ご使用のコンピューターまたは有線LANアダプターのメーカーにお問い合わせください。

**有線LANの接続が切れてしまう**

映像の表示が中断された場合や通信が切断された場合は、本ソフトウェアから再度機材を選択してください。それでも機材と通信できない場合は、機材の電源を切り、しばらく待ってから主電源スイッチを切ります。主電源のスイッチがない場合は、電源プラグを抜いてください。  
 再度機材の電源を入れてから、もう一度本ソフトウェアから機材を選択してください。

**機材の入力信号に「Screen Transfer」がない**

- 「Screen Transfer 機能」に対応している機材ですか（3 ページ）。
- 対応する機材の「Screen Transfer 機能」が有効になっていますか。詳しくはご使用の機材の取扱説明書をご覧ください。

**画像の表示や動画の再生が遅い、スムーズでない**

- コンピューターのディスプレイが4K解像度対応の場合は、解像度を2048ドット×1536ドット以下に変更してからご使用ください。
- ノートパソコンをご使用の場合は、必ずACアダプターを接続してください（6 ページ）。
- コンピューターのCPU速度が遅くありませんか（6 ページ）。  
 画像の表示や動画の再生は、コンピューターのCPU性能に大きく依存します。
- ランチャーのシステムメニュー → [設定] → [共有画面の画質]で「高画質」を選択している場合は、画面表示が遅くなる場合があります（24 ページ）。
- ランチャーのシステムメニュー → [設定] → [フレームレート]で「高い」を選択している場合は、画面表示が遅くなる場合があります（24 ページ）。
- 他のアプリケーションを同時に起動している場合、遅くなる場合があります。
- 動画を再生する場合、表示が遅くなる場合があります。

**コンピューター操作と実際の表示映像にタイムラグがある**

- 本ソフトウェアはコンピューターの画面を取り込んで圧縮してから機材に送信します。また、機材側では受信したデータを解凍してから映像を表示します。  
 この処理時間と有線LANの環境によって遅延時間が発生します。ご使用のコンピューターの性能によっても遅延時間に差がでます。

<b>映像が表示されない</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 必要なシステム構成で使用していますか（6 ページ）。</li><li>● ご使用のコンピューターのビデオドライバー（グラフィックスドライバー）をアップデートすると、動作する場合があります。ビデオドライバーのアップデート方法については、コンピューターのメーカーまたはインテル社にお問い合わせください。</li></ul>
<b>映像の表示中に機材からコンピューターの音声がでない</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 本ソフトウェアの起動後に出力デバイスを切り換えた場合、音量は正しく変更できません。本ソフトウェアをいったん終了し、起動し直してください。</li><li>● 複数台の機材と同時に通信している場合は、利用できません。</li><li>● ランチャーのシステムメニュー → [設定] → [画面共有時に映像と一緒に音声も出力する] にチェックが入っているかを確認してください（24 ページ）。</li><li>● 部屋と機材を登録して使用している場合は、部屋の選択時に選んだ機材からのみ音声が出力されず（19 ページ）。</li><li>● 上記の操作を行っても症状が改善されない場合は、本ソフトウェアをいったん終了し、起動し直してください。</li></ul>
<b>本ソフトウェアの色表示が正しくなく、文字が読みづらい</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>● ランチャーのシステムメニュー → [設定] → [共有画面の画質] を表示し、「高画質」を選択してください（24 ページ）。</li></ul>
<b>映像を表示中、スクリーンセーバーが表示されない</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>● ランチャーのシステムメニュー → [設定] → [画面共有時にスクリーンセーバーを無効にする] のチェックを外すとスクリーンセーバーが有効になります。ただし、スクリーンセーバーが開始されると本ソフトウェアは自動的に画面共有を停止します（24 ページ）。</li></ul>

# 商標について

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- インテルは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

## ご注意

- 本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 本ソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本ソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

## パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリー  
ダイヤル



0120-872-002

※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）  
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

URL <https://panasonic.biz/cns/prodisplays/supportcenter/>

- \* 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差し上げるのにお時間をいただくことがあります。
- \* お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号